

基礎講座

第34回

妊産婦と新生児のための環境づくり



©UNICEF/ HQ05-1047/Radhika Chalasani
訪問検診を待つお母さんと子どもたち（ニジェール）

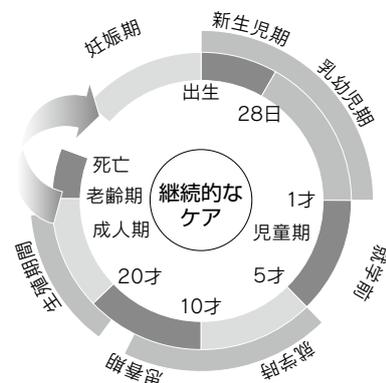
現 在、妊産婦の死亡の99%は開発途上国、そのうち84%はサハラ以南のアフリカと南アジアでおきています。近年、妊産婦死亡率の数値は改善されてきているものの、全ての途上国においてペースが非常に遅く、1990年～2015年の間に妊産婦の死亡率を4分の3減らすというミレニアム開発目標5を達

成するためには、改善の速度を急速に向上させなければなりません。昨年発表されたユニセフの報告書「子どもたちのための前進（Progress for Children: A Report Card on Maternal Mortality）」では、ミレニアム開発目標を達成するためには、次の9つのプログラムを進めていくことが重要だと指摘しています。

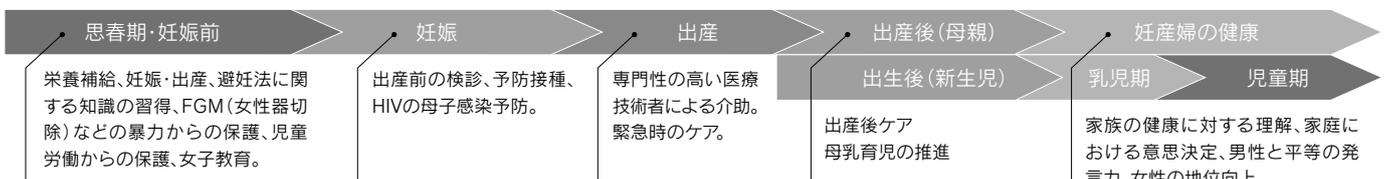
◆ 9つのプログラム



妊 産婦と新生児にはそれぞれのライフサイクルに合わせた継続的なケアが必要です。下の図は、ライフサイクルの中で特に重要となる時期—妊産婦の思春期と妊娠前、妊娠中、出産時、出産後、新生児の新生児期、乳児期、児童期です。妊産婦と新生児の死亡を削減するためには、女性と子どもたちが自分たちの権利を実現できるような環境づくりが大切です。



◆ 妊産婦と新生児のライフサイクルに合わせた継続的なケア (右図・下図)



出典：The State of the World's Children P.27 Figure2.1 The continuum of care